

受 理	平成27年3月11日	請 願 第 5 号
件 名	国保料を引き下げ、市民の暮らしと健康を守る国保行政・健診事業を求める請願	
請 願 者	吹田市川園町20番1号 吹田商工会館内 吹田社会保障推進協議会 国保部会 代表者 藤原 龍治	
請 願 の 要 旨	<p>吹田市の国民健康保険料が毎年引き上げられ、市民は保険料の通知書が届くたびに、どうすれば払えるか苦悩しています。国政では安倍内閣の円安誘導による物価高に加え、今年度から消費税率が8%に引き上げられました。市民の暮らしは既に窮迫しています。国民健康保険も今後、保険給付の都道府県一元化によって、更に市民の保険料負担が増えることも危惧されています。これ以上、市民負担を増やすことのない施策が必要です。</p> <p>保険料の引上げを抑え、市民の健康を守る特定健診の受診率は、吹田市では努力もあり、府内では高い受診率になっていますが、胃がん検診受診率は大阪府内最低です。国が不適切としているペプシノゲン検査や誕生月にしか受けられない検診を改め、多くの市民が適切な胃がん検診や特定健診を受けられる、市民の健康を守る有効な事業に見直すことが必要です。</p> <p>吹田市の国保行政、健診事業の改善を求めて下記の事項を請願します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国民健康保険料を引き下げること。</li> <li>2 協力医療機関受診の胃がん検診では、胃レントゲン（バリウム）を採用すること。</li> </ol>	
紹 介 議 員	塩見みゆき 倉沢 恵 竹村 博之 柿原 真生 山根 建人	
付 託	福祉環境委員会	